

日本語

カンドウ・イエシエ・ツォギャルの銅色吉祥山への旅立ち

遠くそして近くの友人たちへ、

年始に際し、このメッセージがあなたに健康と幸せを運びますように。このグル・リンポチェの日に、カンドウ・イエシエ・ツォギャルが円寂の際に銅色吉祥山に旅立った話をシェアしたいと思います。

カンドウ・イエシエ・ツォギャルの211回目の誕生日に、伴侶である蓮華大師の予言通り、彼女がこの世界の衆生として教えを説く時間が終わりを告げます。そして131年前にグル・パドマサンバヴァが銅色吉祥山に旅立ったように、彼女もまたその運命にありました。11人の根本弟子に最後のアティの要訣を与え解脱へと導いた後、チベット暦8月に当たる今から5日以内に、弟子たち皆でザプ山の山頂へ登り不可思議な現れである銅色吉祥山を見ることを弟子たちに告げました。山を登り、近い弟子と幸運なる追従者が大いなるツォを捧げ、イエシエ・ツォギャルが旅立たないよう頂礼したのち、弟子たちは要訣、指示と予言を授かりました。

8日目と9日目の夜、空に無数のダーキニーが現れ、それぞれが異なる色、馬、飾り、姿、歌、舞でカンドウ・イエシエ・ツォギャルを讃え供養しました。お返しにイエシエ・ツォギャルは大いなるツォを供養し、夕暮れに心臓のような形をした銅色吉祥山の頂へと昇り始めました。そこでラクシャサと4人の守護王は成功裏にカンドウ・イエシエ・ツォギャルをグル・リンポチェの浄土へと招くことができたのです。チベットにいる全ての精霊と神々も現れ、懇願する全ての者に、イエシエ・ツォギャルは最後の予言と教えを与えたのでした。

最後に、その月の10日目に八弁の蓮華の形をした駕籠の光が4人のダーキニーから生まれた夜明け初めの光と共に現れました。右手にダマル、左手に頭蓋骨のカップを持った淑女はその上に乗りました。そして五色の光で輝き、深い青の光の球へと消えました。4人のダーキニーは四弁の蓮華の上にきらめく光を消え去るまで空高く

上げ続けました。そこにいた全ての者は涙し嘆き悲しみながら頂礼しました。そしてカンドゥ・イエシェ・ツォギャルの声が光り輝く雲から鳴り響き、このように最後を教えが説かれたのです。

「蓮華生はあなたの運命的な師である
グルを成就するには、蓮華の姿として
自らの師を見做すことに努めるべきである。
よって慈悲の加持が更に豊富に流れるだろう。
長編及び短編の修行法で上師の心を修行し
仏果が今生であなたのものになると私は誓約する
月が満ち欠ける 10 日目
月の 8 日目と 15 日目に
供養と共にツォ（ガナチャクラ）を保持すべき
ガナチャクラだけで悪趣に生まれる扉が閉じられるのである！
貴方を不還の状態に導くことを私は約束する。

これは確かな真実で、知り理解すべきである！

師の真髓はこのグル・シッディ真言である：

(...)

オム： 至福に至った全ての仏陀の五身の融合

アー：五智の言葉の真髓を抽出したもの

フン：真如の身体、智慧の 5 つの側面

ヴァ：不滅の徴候と印

ジュラ：金剛のような慈悲の展開

グ：三世のグル・ヘルカ

ル：成熟と解脱の真髓の滴

ペ：加持の清浄なる住居への入り口

マ：不動なる加持の子宮（発生場所）に住す

シッ：大いなる強さと力の慈悲

ディ：全ての望みを満たす成就

フン：根源地の主権を得る

この真言は宝珠と正に類似している。
更に、十二縁起も浄化され
十円満の自然となる
つなりそれは大いなる母であり
全ての祈願の成就である。
そのため、今ここにいるあなた方、そして来るべき時にいる者たちは皆、
熱意をもってこの真言を唱えるべきである。

あなたの二元的な心が持続する限り
私があなたから離れたように見えるかもしれないが、心に留めるべきは
あなたの二元的心が弱まれば、私たちは離れたことなど決してないことがわか
るだろう。
空の果てまで健康と幸福が抱擁しますように！」
(*Lady of the Lotus-Born*, ペマカラ翻訳グループ 205-6 頁より引用)

至高なる智慧の教えと共に、新年の初めに皆さんに利益と幸福がありますように。

サルワ・マンガラム！



キャブゴン・パチョク・リンポチェ